

何の数字???

557,194冊

3キャンパス図書館が所蔵する図書の冊数の合計です。これは全国公立大学の平均値の約2倍に当たるほど、本学図書館は図書が豊富です。他キャンパスの図書も簡単に取り寄せることができます。(2013年4月1日現在)

10位

民間出版社がまとめた大学ランキングにおける本学図書館の順位です。全国の国公立大学すべての中でこの順位ですから、とても誇らしいですね。(朝日新聞出版：大学ランキング2014より)

21,152円

学生の皆さん一人当たりの年間図書資料費です。これだけ投資しているんだから、図書館を利用しなきゃもったいないですね。(2012年度決算額)

15.0冊

学生の皆さんに借りてみたい図書の年間冊数/人です。図書館では、学生選書ツアーなどにより興味深い図書をそろえたり、オススメの図書を展示したり、いろんな企画を計画していますので、どんどん借りて読んでください。

学修支援アドバイザーを活用しよう!

平成25年10月から広島キャンパスラーニングコモンズで試行開始した学修支援アドバイス制度をご存知ですか?(院生・学部生がアドバイザーとして登録しています。)

具体的には、①レポートの書き方、②資料の探し方や文献検索方法、③PC操作の3つの支援を受けることができます。アドバイザーの存在はまだまだ知られていませんが、まずはその存在を知ってもらえるよう、学内講習会などで、気軽に質問できるような場を開いていく予定です。大学の勉強の方法が分からない時は、先輩に聞くのが一番ですよ!!

アドバイザー(N.Sさん)から一言

講習会での進行を務めさせていただいたことは、私にとっても貴重な経験となりました。つたない説明でしたが、後輩の皆さんが真剣に耳を傾けてくださったことを嬉しく思います。

アドバイザー制度も始まったばかりですので、初めから多くの方に利用していただくのは難しいかもしれませんが、アドバイザーの存在や図書館のサービスについて、学生の目線からその魅力を伝えていけたら、と考えております。大学での学修や図書館利用に関する疑問等ありましたら、私達学修支援アドバイザーまでぜひお気軽にご相談ください!

ベストリーダー(学生貸出ランキング)

この1年間に貸出の多かった図書のランキングです。各キャンパスの学部学科に応じた特色が出ています。学生の皆さんはこんな本を読んで勉強しているんですね。これからの利用の参考にしてください。

人気の本は貸出中のことも多いですね。そんな場合は、予約をすることもできます。どんどん本を借りて、図書館を活用してくださいね。

平成24年4月1日～25年3月31日のランキング

	順位	貸出数	書名	著者名
広島	1	18	行動分析学入門：ヒトの行動の思いがけない理由(集英社新書；0307E)	杉山尚子著
	2	14	錯覚の心理学(講談社現代新書；1233)	椎名健著
	2	14	白氏文集(2下)(新釈漢文大系；107)	[白居易原著]；岡村繁著
庄原	1	28	電気泳動なるほどQ&A：今さら聞けない基礎知識+原理を学んでトラブル解決!	大藤道衛編集
	2	21	核酸の電気泳動法：基礎と実験	寺田弘編
	2	21	DNA実験の基本をマスターする[改訂第3版](無敵のバイオテクニカルシリーズ)	田村隆明編
三原	1	30	脳・神経(病気がみえる；v.7)	医療情報科学研究所編
	2	24	基礎運動学[第5版]	中村隆一,斎藤宏,長崎浩著
	3	18	なるほど!失語症の評価と治療：検査結果の解釈から訓練法の立案まで	小嶋知幸編著；大塚裕一執筆；宮本恵美執筆

学術情報センター図書館部門

行事紹介

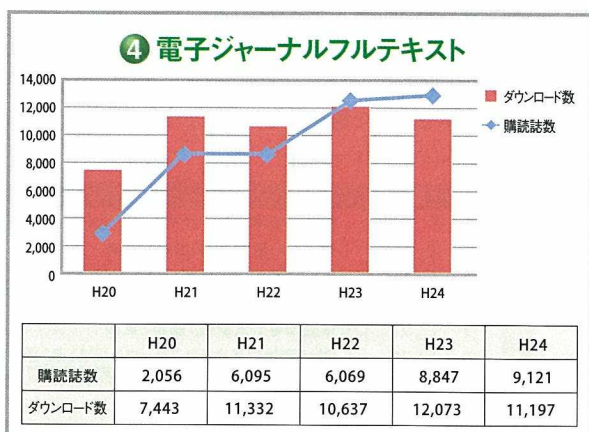
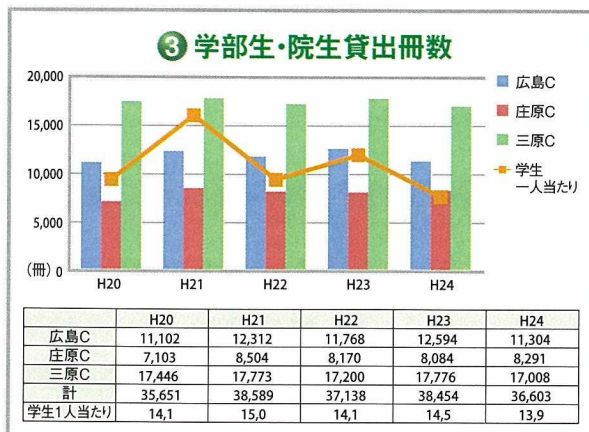
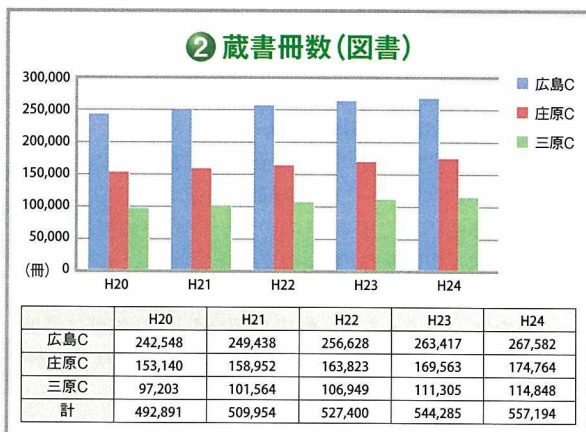
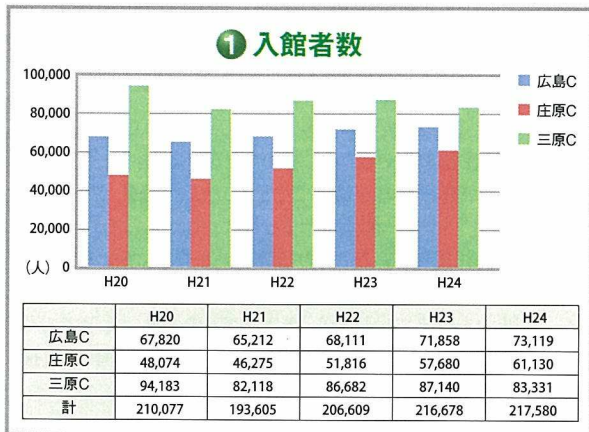
各キャンパス図書館では、テーマに沿って特集した企画展示、講習会、映像セミナーなど、いろいろな行事を毎年度実施しています。これからも勉強や学生生活に役立つ内容を企画していきますので、どんどん活用してくださいね!

25年度の実施例

- **企画展示** 所蔵資料展「源氏物語」とその周辺、新入生向け図書、学生選書図書など
- **講習会** データベース「ジャパンレッジ」の活用方法、プレゼンテーションの手法に関する映像セミナー、電子ジャーナル「Science Direct」利用講習会など



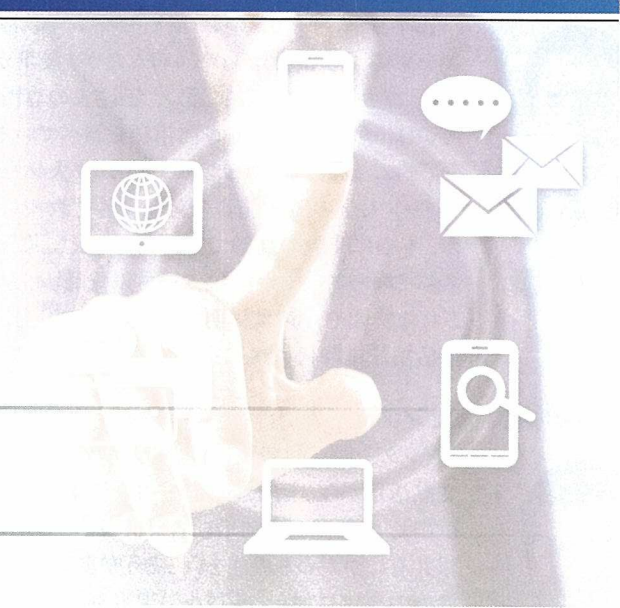
利用統計





学術情報センター情報部門

SNSの歩き方



経営情報学部 経営情報学科
佐々木 宣介 准教授

インターネット上の交流で社会的ネットワークを構築するSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)が、最近では多くの人に利用されています。提供される機能は異なりますが、mixi, twitter, Facebook, LINE等が代表的なSNSとしてあげられるでしょう。SNSでは、普段簡単には会えない人とも簡単にコミュニケーションをとることが可能で、良い点も多いのですが、一方で利用方法を誤ると大きな問題につながります。

SNSの問題点として、実在の人物を騙った偽IDに騙される、出会い系サイトのように使われる場合がある、等の問題と共に、「意図しない個人情報の漏えい」、「書き込み内容が原因で騒ぎになる」という事例が多く発生しています。SNSへの書き込みは、法律違反の行為等、明らかに不適切な内容が原因で騒ぎになる場合があります。しかし、それ以外にも注意が必要です。

SNSではサービスの特性上、自分の個人情報がある程度公開されます。Facebookのように実名利用が原則のSNSもありますし、日々の行動の書き込みも個人の情報です。さらに、「〇さんと一緒に出かける」という内容は自分だけでなく周囲の

人の情報も公開しているのです。他人の写った写真も同様です。自分のプロフィール情報、書き込み内容をどの範囲のユーザまで公開しているか、きちんと確認をして、それにふさわしい言動を行うことは当然です。しかし、友人だけに公開していた(他の人に見られると問題になる可能性がある)書き込みが、友人経由で広まったという事例もあります。書き込み内容が意図せずに広まってしまう可能性もあるということを意識して利用する必要があります。

また、匿名で利用できるSNSでも、過去の書き込み内容や、写真(ファイルに付属するデータや背景画像が位置特定のヒントになる)、親しいユーザの情報など、小さな断片情報をつなぎ合わせることで名前や住所が特定されることは珍しくありません。出す必要のない個人情報は極力出さないという振る舞いが望まれます。

便利なSNSも使い方を誤れば大きな問題につながります。サービスの特徴をよく理解して、利用する、しないという判断も含めて、賢く付き合っていきたいものです。

学術情報センター長紹介・挨拶

■ 学術情報センター



センター長
生田 顕

15年程前、イギリスのシェフィールド大学に滞在中、ある授業を聴講しました。前半は基本的事項を懇切丁寧に教えられていましたが、後半から急激にレベルがアップし多くの課題が課せられます。学生達は図書館に通い、たくさんの専門書を借出し、セミナー室で仲間と討論していました。時には、インターネットで専門用語を調べていました。これこそ、ラーニングコモンズの先駆けですね。また、最近、アイルランドのリムリック大学を訪問しました。適応フィルタの先駆者であるスタンフォード大学のBernard Widrow名誉教授の特別講演が聞けるとあって楽しみにしていましたが、本当に85歳の高齢で大西洋を越えて来てくれるのだろうか?という疑問もありました。講演はスタンフォード大学からインターネットを通じて配信される形式で実施されました。大画面に写し出された映像や音声は鮮明で講演は実に迫力があり、深い感動を覚えました。ICTの教育研究への活用法は時代とともに進化し多様化しており、無限の可能性を秘めていることを実感しました。

■ 広島学術情報センター



センター長
小川 仁士

インターネットの普及に伴い、大学での学習形態はかつての図書館利用中心の調査・研究・文献活用から、学内外のリソースを活用した学習形態へと変わってきています。センターの役割としては、情報基盤を利用し学術情報を収集し提供することはもちろん、情報発信・情報交換・情報共有にかかわる機能をいっそう充実することが求められています。当センターでは従来の図書機能の充実に加え、多様な学習形態に 대응するラーニングコモンズの利用推進、主体的な学びを支える学修支援アドバイザーの導入、情報リテラシーの向上を目指したセミナーの開催、情報セキュリティ意識の向上を目的としたセルフチェックテストの実施などに取り組んで来ました。今後も皆様のお役に立てるよう鋭意努力して参りますので、引き続きよろしく願いいたします。

■ 庄原学術情報センター



センター長
達家 雅明

図書館は知の宝庫です。多くの本から色々な知的啓蒙を受けます。また、思わぬ知的な出会いがあるのも、また、図書館の魅力です。その結果、人生が開けたり、意外な研究アイデアがもたらされることもあります。また、視聴覚教材の宝庫でもあります。最近はネット化の時代となり、in silicoでの調べものが多くなりました。勿論、学術情報センターでは多くのネット端末が用意されており、パソコンでの調査研究に対しても大いにサポートする体制となっています。書籍にあたり、ネットに乗って、世界へと繋がる学術情報に触れる喜びを味わうアカデミックな場として、センターがフルに活用されて発展することを期待します。

■ 三原学術情報センター



センター長
川原田 淳

我が国でも本の形態の一つとして電子書籍が一般化してきました。スマートフォンやタブレット等の携帯情報端末による再生機器が普及してきたことと日本語のコンテンツが大量に流通するようになったことがこれらの状況を後押ししているようです。かつてグーテンベルグによる活版印刷術が本の形態に大変革を起こしたように、いま電子書籍によって大革命がもたらされました。書籍の電子化により利便性が増すとともに新しい読書スタイルが生まれたといっても過言ではありません。このような中で学術情報センター、とくに図書館も新しい形態やサービスを模索することが求められています。これらの現状を見据え、これからも三原キャンパスの教職員・学生、地域の皆様にとって、魅力ある便利で有用な情報・図書館サービスを提供できるように努力していきたいと思っております。

編集発行

県立広島大学学術情報センター
〒734-8558 広島県広島市南区宇品東一丁目1番71号
電話(082)251-5179

各キャンパス問合せ先

県立広島大学庄原学術情報センター
〒727-0023 広島県庄原市七塚町562番地
電話(0824)74-1702

県立広島大学三原学術情報センター
〒723-0053 広島県三原市学園町1番1号
電話(0848)60-1130